２学期が始まりました。

大幼

令和７年度
園長だより
No8
R7 年9月4日

夏休みの楽しい思い出を胸いっぱいに詰め込んで、お陰様でみんな元気に２学期をスタートすることができました。夏休みのご家庭での生活が心豊かであったことが子どもたちの様子を見てわかります。たくさんの心の栄養をありがとうございました。

始業式では、みんなが元気に来てくれたことに「ありがとう」の気持ちを伝えると共に、２学期がみんなで「なかよし」いっぱいの時間になるようにと話をしました。

異年齢交流の「なかよしあそび」、久しぶりの園庭での遊び、シェイクアウト訓練、また台風接近の中での室内遊びという１週間でしたが、子どもたちは１学期のことを思い出しながらも、どんどん新しいことに好奇心旺盛に取り組もうとしています。各年齢素晴らしい２学期のスタートでした。

保護者の皆様には今学期も変わらぬご理解ご協力をよろしくお願いします。

２学期始業式の様子です。お話を聞くのも落ち着いていました。手遊び歌をしています。

２学期は年中さんのお部屋の前に「お知らせポスト」を置き、お知らせしたいことがあればお手紙を書きポストに入れるようにしています。もちろん返事もきます。（郵便屋さんに扮した教員が届けたりもします！）また、年長さんは「なかよしマップ」を活用し自分の遊びをより主体的に考えるようにしています。遊びの環境も日々更新していますが、子どもの成長、適応能力はその先をいきます。大人にとっては毎日同じような時間でも子どもはその中から日々新しいことを見つけ歩みを止めません。雨の日の今日も「遊びの天才」をたくさん見つけました。雨の日はじっくり没頭するのに都合がいいのかもしれません。２学期の子どもたちの成長が楽しみです。

年長さん全員がフラフープ、縄跳び、竹馬、一輪車など習得に時間がかかるものに挑んでいました。友だちにコツを一生懸命に伝え、一方の聞く側もじっくりとそれに耳を傾けます。何度も何度も繰り返し練習を行い、自分が好きな遊びをしてよい、という時間にも練習を続ける子どもが数人いました。うまくいかない原因は何かを考えながら辛抱強く取り組む姿には感動さえ覚えました。壁にぶち当たった時、それに向き合いその壁を超えようとするその力は、大きく太い軸となり子どもを支えます。大変だったでしょうがその目は輝いていました。子どもの成長を目の前で感じた時間でした。